

やっしる 全国花火競技大会

開催日
10月第3土曜日

会場 球磨川河川敷緑地公園

毎年、3日間連続で開催され、海外からも多くのウォーカーが集まる「歩く祭典」。健康で大会マナー、ルールを守れる方なら誰でも参加できます。5キロ、10キロ、20キロ、30キロ、40キロのコースより、自分に合ったコースを楽しく歩きます。コースも毎年変わり、八代の自然豊かなコースが用意されています。

九州国際 スリーデー マーチ

開催日
5月上旬



八代の 三大 イベント

八代の街を熱くする、八代の三大イベント。今や全国から多くの観光客で賑わい、海外からの参加も年々増加している注目の祭り・イベントをご紹介します！

会場 球磨川河川敷緑地公園

日本屈指の花火師たちが腕を競い、最高の花火を打ち上げる、全国でも珍しい花火競技大会。競技大会だけでなく、そのクオリティは高く、全国より約20万人の来場のあるイベントです。会場環境も大変評価が高く、圧倒的な迫力を体感できます。



八代妙見祭の 神幸行事

ユネスコ無形文化遺産

開催日
11月22日(お下り)・御夜、
23日(お上り)

会場 八代神社、砥崎河原

八代神社の秋の例大祭。妙見神が海を渡る際に乗って来たとされる空想上の動物・亀蛇や、中国風の獅子舞、楼閣型の11基の笠鉾など、そのパフォーマンスもさることながら、1つ1つの造りに使われている素材など、大変貴重なもので一見の価値ある祭りです。2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

祭りの一番人気。地元では「ガメさん」と呼ばれ親しまれています。迫力ある演舞は、神幸行列で八代神社に向かう間にも数回行われますが、砥崎河原での演舞は最も迫力があり、観客も大いに盛り上がります。

亀蛇



笠鉾

城下町の各町内から奉納される笠鉾は、当時の栄華を競い、豪華絢爛な素材を使ったものが多く、ひとつひとつの部品が大変貴重な文化財となっています。

獅子

中国風の獅子舞。神幸行列のトップを行く獅子は、八代神社へも最初に入ります。緊張感あふれる演舞には子どもから大人まで参加し、23日の夜8時ころまで演舞が続きます。

